Shimadian File #28

# しまだ人（じん）

ロンドンパラリンピック 日本代表

## 米田真由美（よねだまゆみ）さん（本通一丁目出身）

**努力の階段を一歩ずつ上ってたどり着いたのはロンドン**

米田さんは、ロンドンで開催される「パラリンピック」視覚障害者柔道57kg級の日本代表選手です。この競技は、アテネ大会から正式種目となりました。今回が初の代表入り。それだけに喜びもひとしおです。

【小さな柔道家】

「3歳の頃から、父に連れられて島田商業高校の体育館で、柔道を始めました。私は、小さい頃から活発な子で、体を動かすのが大好きでした。小学生の頃は、いつも男の子とばかり遊んでいて、けんかもしょっちゅうしていました」

一見、華奢（きゃしゃ）でおとなしそうな外見からは、想像できませんが、相当な「おてんば」だったようです。

【不器用でもコツコツと】

「自分は決して器用な選手ではない」と米田さんは言います。それを克服するため、練習に人一倍励みます。道場の練習に加え、自主トレーニングも欠かしません。それでも、「現在は、今大会に向けて、減量するためのトレーニングを集中して行っています。今でこそ得意としている寝技ですが、最初からできた訳ではありません。4年前から強化すべく練習に取り組んで、何回も寝技に持ち込む『体落とし』や『背負い投げ』を繰り返し覚えてきました。何度やってもなかなか思いどおりにはいきません。それでも、練習は大好きなんです」

就職後、「仕事に慣れるまでは、仕事一本で」と、柔道から離れた時期があったそうです。「でも、やっぱり柔道が好き」と22歳で一念発起。北京大会を目指して、競技生活を再開しました。

【文武両道】

三井住友海上あいおい生命保険株式会社に所属する米田さんは、会社員として働く以上、仕事の手も抜きません。「会社や同僚のおかげで柔道に打ち込むことができるんです。私一人ではなく会社の皆さんや、家族、そして友人たちが、みんなで私をバックアップしてくれています。だから、大変だと思ったことは一度もありません」と、ご主人と顔を見合わせるように話してくれました。同じ柔道家の道を歩むご主人も、米田選手を心身ともに一番にサポートしていることは、言うまでもありません。

将来の夢は「競技人口を増やしていくお手伝いができれば」と語る米田さん。

最後に「夢は、追いかけていい。努力は、決して裏切らないから」と、夢に向かって頑張っている子どもたちへ一言、やさしい口調で話してくれました。

コツコツと積み重ねた努力の結果、つかんだ夢の舞台。この一言は、まさに柔道が、米田さんに教えてくれた言葉です。

練習中の米田さん（左）

発行／編集 島田市企画部広報課
〒427-8501 島田市中央町1番の1
☎0547-36-7118

「広報しまだ」は、環境にやさしい植物油100%のインクと、資源リサイクル推進のため再生紙を使用しています。
http://www.city.shimada.shizuoka.jp